1. 品目別輸出入額
   品目別輸出入量
2. 港別輸出入額
3. 原料等の海外依存率

1. 品目別輸出入額

我が国の貿易は、主として原料および燃料を輸入し、それらを製品化して輸出する加工貿易型である。輸入品目は、近年の高度な工業技術の発展に必要な鉱物性燃料・金属原料の比重が高い。また、輸出品目は重化学工業品が多く、性能・経済性などの面から先進工業国(20カ国)の中でも、国際競争力は強い。

1987年における我が国の輸出額は、2292億2123万ドル(33兆3151億9100万円)、また、輸入額は1495億1511万ドル(21兆7369億1300万円)で、輸出入額のバランスは、797億612万ドル(11兆5782億7800万円)の黒字となっている。

輸出7品目のうち、最も輸出額の多いのは重化学工業品の機械機器(自動車など)で、1710億7659万ドルになり輸出総額の74.6%を占めている。次いで金属および同製品が多く180億1765万ドル(7.9%)となっている。

輸出額を相手国別にみると、最も多いのはアメリカの835億7993万ドルで、輸出総額の36.5%を占めている。アメリカへの輸出品目の中で、最も多いのは機械機器の694億9388万ドルで、同国への輸出額の83.1%を占めている。次いで韓国の132億2933万ドル(5.8%)である。

輸入6品目のうち、最も輸入額の多いのは鉱物性燃料の391億3681万ドルで、輸入総額の26.2%を占めている。次いで食料品が多く223億9520万ドル(15.0%)となっている。

輸入額を相手国別にみると、最も多いのはアメリカの314億9046万ドルで、輸入総額の21.1%を占めている。アメリカからの輸入品目の中で、最も多いのは機械機器の90億7543万ドルで、同国からの輸入額の28.8%を占めている。次いでインドネシアの84億2731万ドル(5.6%)である。

〔凡例と作図の要点〕

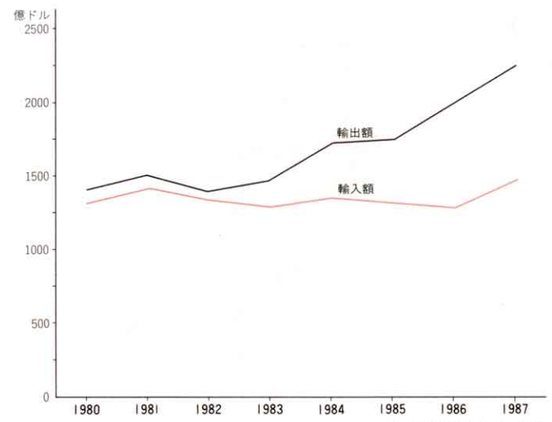
輸出入額がそれぞれ100万ドル未満の品目は省略した。品目の分類は、「輸出入統計品目表」に従った。

輸出入額は税関実績により、輸出額は本船渡価格(F.O.B.価格)、また、輸入額は到着価格(C.I.F.価格)で、円から米ドルに換算したものである。

〔主な資料〕

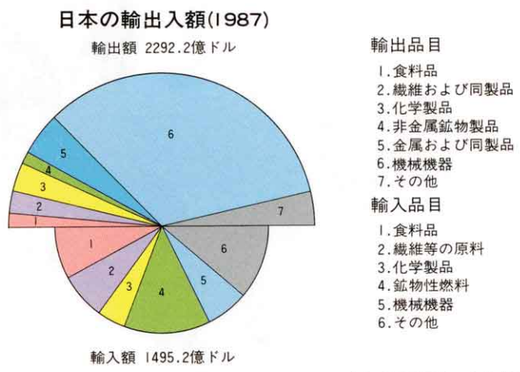
1. 日本関税協会，1987年外国貿易概況，№1～№12
2. 日本関税協会，1987年輸出統計品目表
3. 日本関税協会，1987年輸入統計品目表

輸出入額の推移



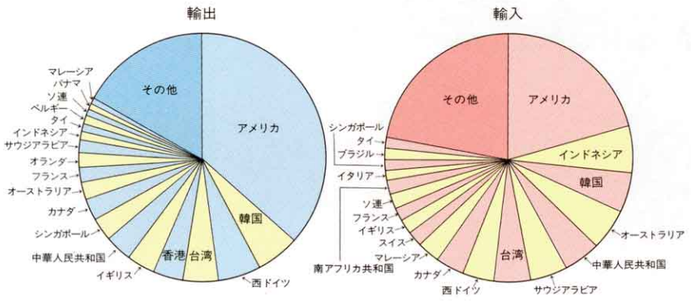
(外国貿易概況から作成)

日本の輸出入額(1987)



(外国貿易概況から作成)

輸出入額の相手国別割合(1987)



(外国貿易概況から作成)

1. 品目別輸出入量

1987年における我が国の輸出量は1億6435万トン、また、輸入量は6億9222万トンで、輸出入量のバランスは、5億2787万トンの輸入超過となっている。

輸出6品目のうち、最も輸出量の多いのは金属機械工業品(輸送機械など)の1億1835万トンで、輸出総量の72.0%を占めている。次いで化学工業品が多く2352万トン(14.3%)となっている。

輸出量を相手国別にみると、最も多いのはアメリカの5796万トンで、輸出総量の35.3%を占めている。アメリカへの輸出品目の中で、最も多いのは金属機械工業品で、同国への輸出量の82.0%を占めている。次いで中国の1082万トン(6.6%)である。

輸入6品目のうち、最も輸入量の多いのは鉱産品(原油など)の4億935万トンで、輸入総量の59.1%を占めている。次いで化学工業品が多く1億2765万トン(18.4%)である。

輸入量を相手国別にみると、最も多いのはオーストラリアの1億1402万トンで、輸入総量の16.5%を占めている。オーストラリアからの輸入品目の中で、最も多いのは鉱産品の1億171万トンで、同国からの輸入量の89.2%を占めている。次いでアメリカの7453万トン(10.8%)である。

〔凡例と作図の要点〕

輸出入量がそれぞれ1万トン未満の品目は省略した。輸出入量は、原則としてフレート・トン式によって表わした。フレート・トン式とは、容積1.13m³・重量1000kgをもって1トンとし、容積または重量のいずれか大きい方で計算したものである。

品目の分類は、港湾統計年報の分類に従った。

〔主な資料〕

1. 運輸省，1987年港湾統計年報

輸出入額の品目分類内訳表

(内訳は輸出入統計品目表を要約)

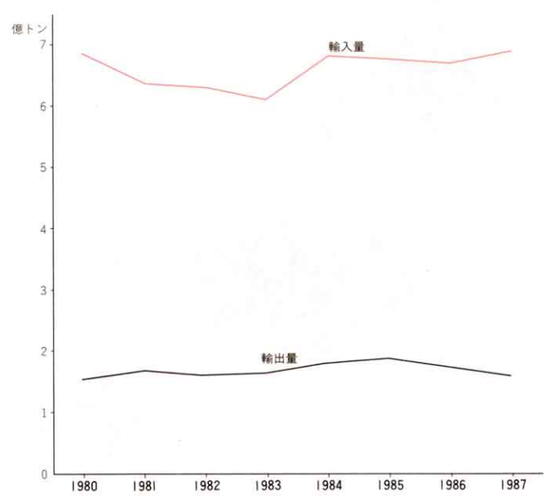
輸出品目

品目名	内　訳
食料品	魚介類、その他
繊維および同製品	合成繊維および合成織物、綿織物、毛織物、人絹・スフ織物、編物および衣類、その他
化学製品	化学肥料、医薬品、人造プラスチック、その他
非金属鉱物製品	陶磁器、真珠、その他
金属および同製品	鉄鋼、非鉄金属、金属製品
機械機器	原動機、事務用機器、重電機器、繊維機械、テレビ、ラジオ、テープレコーダー、自動車、船舶、科学光学機器、時計、その他
その他	ゴムタイヤ、チューブ、がん具、その他

輸入品目

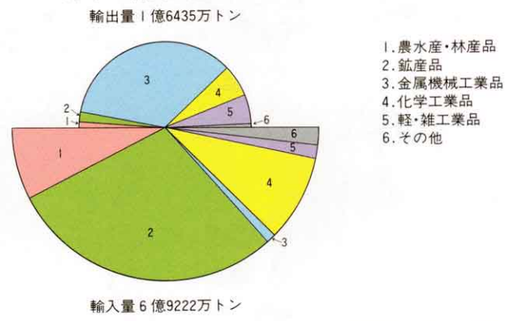
品目名	内　訳
食料品	肉類、魚介類、小麦、砂糖、とうもろこし(飼料用)、その他
繊維等の原料	羊毛、綿花、鉄鉱石、非鉄金属鉱物、木材、大豆、非金属鉱、天然ゴム、その他
化学製品	医薬品、その他
鉱物性燃料	石炭、原油、天然ガス、その他
機械機器	事務用機器、精密機器、原動機、航空機、その他
その他	繊維製品、非鉄金属、がん具、その他

輸出入量の推移



(港湾統計年報から作成)

日本の輸出入量(1987)



(港湾統計年報から作成)

2. 港別輸出入額

1987年現在、我が国では109の港湾および12の税関空港が開港している。輸出額の最も多いのは横浜港で、6兆970億4796万円になる。輸出額の多い上位5港(横浜・神戸・東京・名古屋・成田)の総額は21兆365億5274万円になり、これら5港だけで輸出総額の63.1%を占めている。

輸出額の最も多い機械機器は、主に大規模な港湾から輸出され、横浜港では4兆8288億4472万円で、同港輸出額の79.2%を占めている。

輸入額の最も多いのは成田空港で、2兆9298億6436万円になる。輸入額の多い上位5港(成田・東京・横浜・神戸・名古屋)の総額は10兆5749億24万円になり、これら5港だけで輸入総額の48.6%を占めている。

輸入額の最も多い鉱物性燃料は、主に臨海工業地帯にある港(千葉・川崎・四日市・水島)に輸入され、特に千葉港では9581億5047万円になり、同港輸入額の74.4%を占めている。

単一品目(鉱物性燃料)だけを輸入している特別な港(喜入港・鹿児島県・3999億3045万円)もある。

航空貨物による輸出額は4兆1646億2500万円で、輸出総額の12.5%、また、輸入額は4兆2752億1500万円で、輸入総額の19.7%をそれぞれ占めている。このうち、輸出入額の最も多い成田空港では、輸出額3兆327億1323万円で、輸入額2兆9298億6436万円となっている。

〔凡例と作図の要点〕

成田・羽田および伊丹を除く税関空港の輸出入額は、同一行政区域内の港湾の輸出入額に合計して表わした。

〔主な資料〕

1. 函館・東京・横浜・名古屋・大阪・神戸・門司・長崎および沖縄地区税関，昭和62年外国貿易年表

3. 原料等の海外依存率

我が国では人口増、耕地の減少、鉱物資源の不足などにより、農産物、原料などの海外依存率が非常に高い。ここ数年でも、主な原料などの海外依存率が上昇している。

1987年における原料等の海外依存率は、とうもろこし・綿花・羊毛・ニッケルなどで100%、また、鉄鉱石・原油・銅鉱・天然ガスなどで90%を越えている。

原料等の主な輸入相手国は、食料品がアメリカ、原油が西アジアの各国、その他の原料が主にアメリカ、オーストラリア、カナダ、東南アジアの各国である。

原料等のうち、国民生活に大きな影響を及ぼす小麦、原油についてみると、小麦(食料用)は輸入量547万6045トンで、海外依存率は86.4%である。その主な輸入相手国はアメリカ(54.1%)、カナダ(29.0%)、オーストラリア(16.9%)で、100%をこれら3カ国に依存している。

原油は輸入量1億8470万2000kℓで、海外依存率は99.6%である。その主な輸入相手国はサウジアラビア(21.6%)、アラブ首長国連邦(19.1%)、インドネシア(13.4%)で、50%以上をこれら3カ国に依存している。

〔凡例と作図の要点〕

相手国別依存率が0.3%未満のものは省略した。海外依存率は、生産量と輸入量を加えたものに対する輸入量の割合で、通商産業省の試算した率に従った。

〔主な資料〕

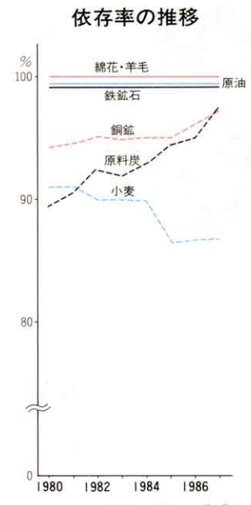
1. 通商産業省，1987年通商白書

輸出入量の品目分類内訳表

(内訳は港湾統計の品目分類を要約)

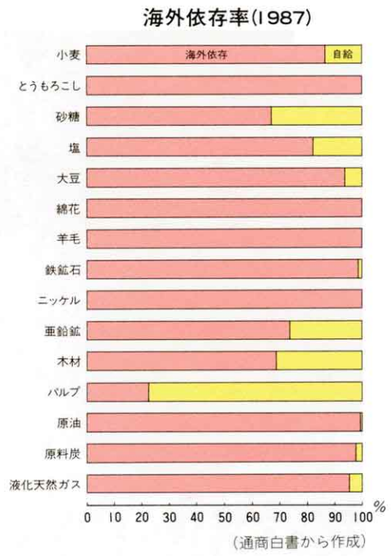
品目名	内　訳
農水産・林産品	麦、米、雑穀、豆、野菜、果物、綿花、羊毛、その他の農畜水産品、原木、その他の林産品
鉱産品	石炭、鉄鉱石、原油、原塩、その他の鉱産品
金属機械工業品	鉄鋼、輸送機械、その他の金属機械
化学工業品	重油、石油製品、化学薬品、化学肥料、その他の化学工業品
軽・雑工業品	紙、パルプ、繊維工業品、砂糖、その他の食料工業品、日用品、木製品、その他の製造工業品
その他	金属くず、動植物性製造飼肥料、その他

依存率の推移



(通商白書から作成)

海外依存率(1987)

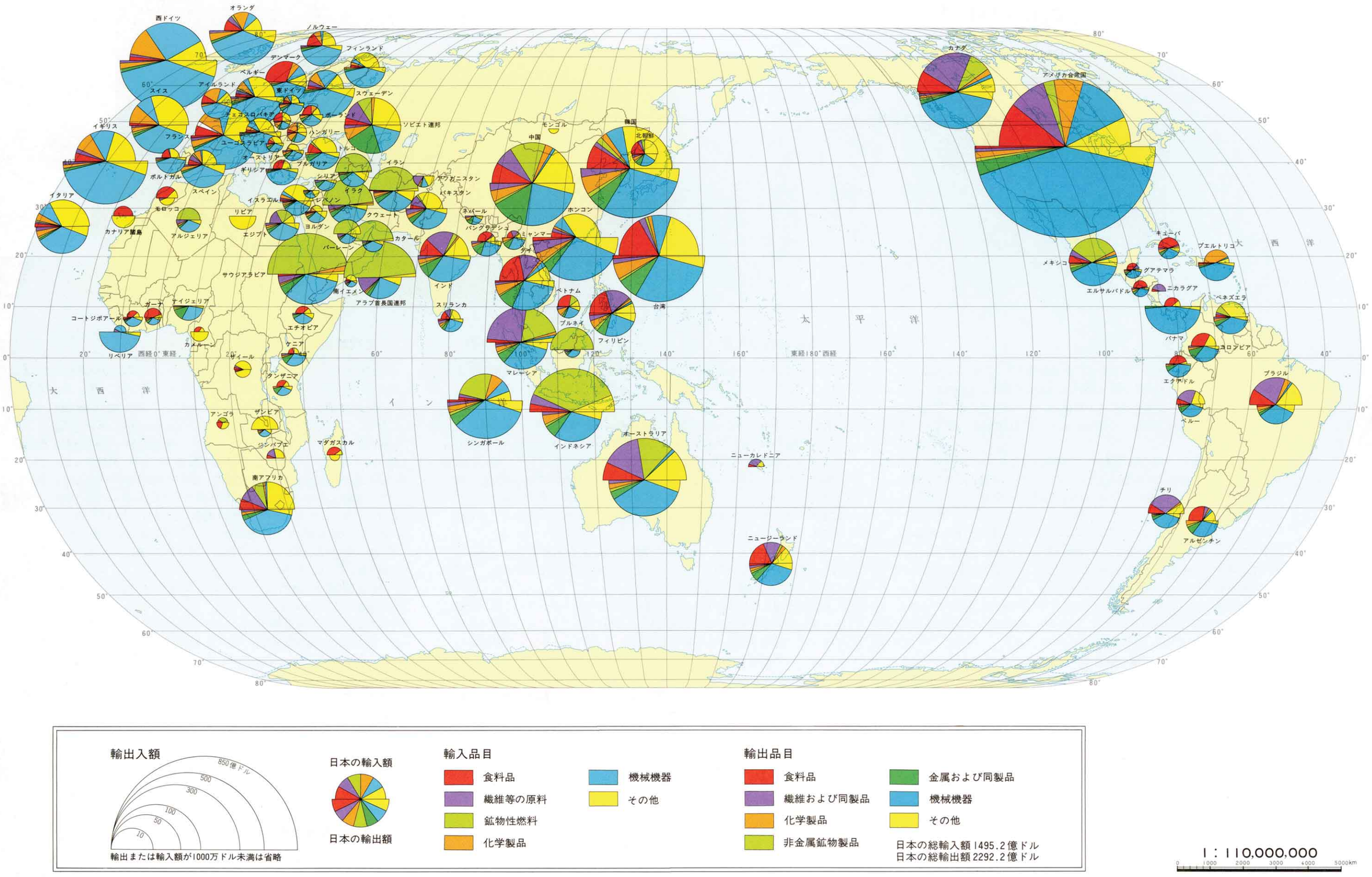


(通商白書から作成)

37.1

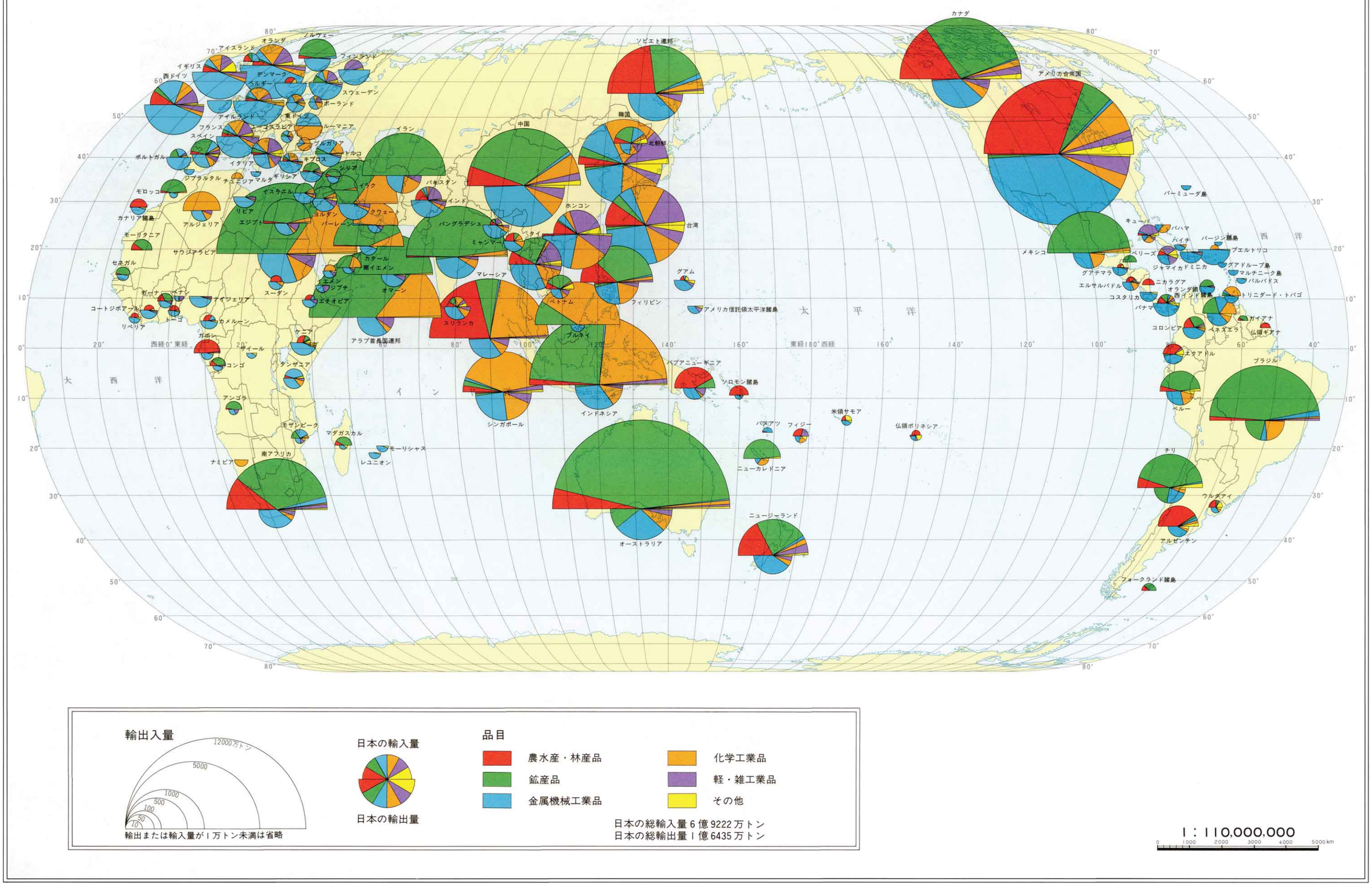
品目別輸出入額

（1987）

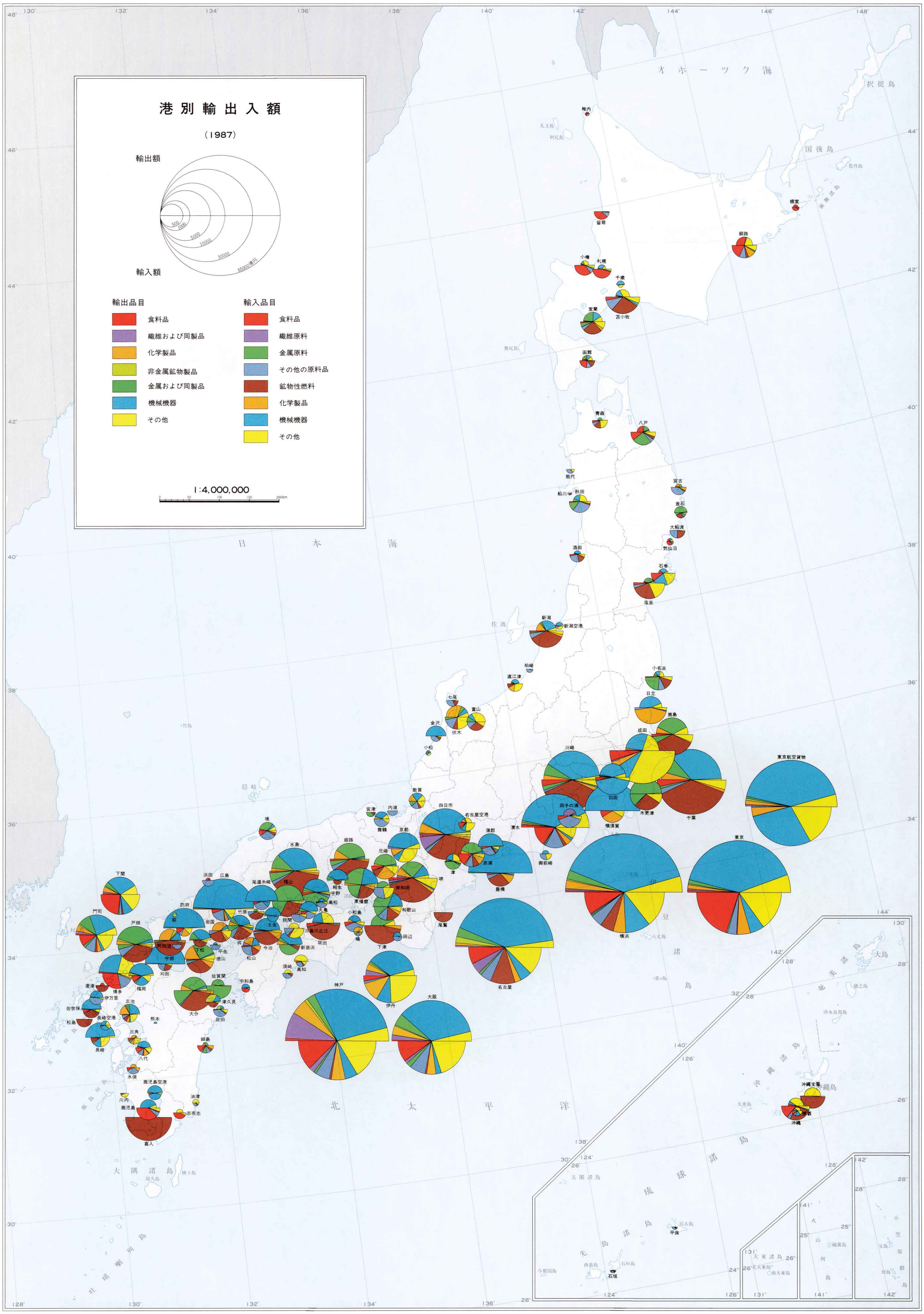


品目別輸出入量

（1987）



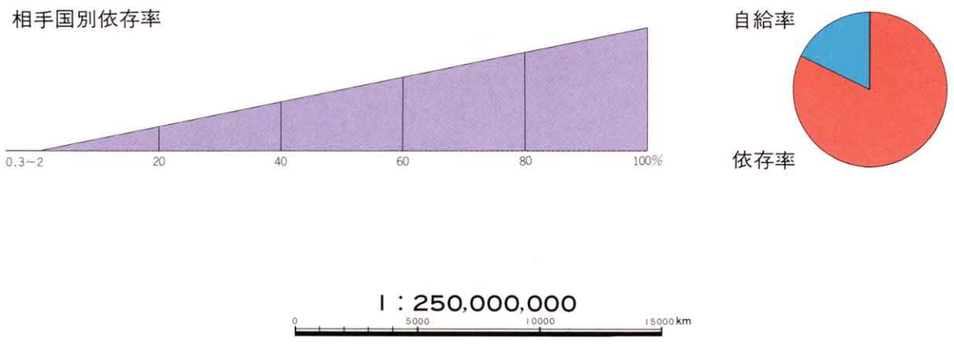
37.2


港別輸出入額
(1987)
輸出額
輸入額
500
1000
5000
10000
30000
65000億円
輸出品目
食料品
繊維および同製品
化学製品
非金属鉱物製品
金属および同製品
機械機器
その他
輸入品目
食料品
繊維原料
金属原料
その他の原料品
鉱物性燃料
化学製品
機械機器
その他
1:4,000,000
オホーツク海
択捉島
国後島
色丹島
歯舞諸島
日本海
北太平洋
琉球諸島
沖縄諸島
大隅諸島
東京航空貨物
東京
横浜
名古屋
大阪
神戸
新潟
函館
釧路
根室
稚内
留萌
小樽
札幌
千歳
苫小牧
室蘭
青森
八戸
能代
秋田
船川
宮古
釜石
大船渡
気仙沼
酒田
石巻
塩釜
新潟空港
柏崎
直江津
小名浜
日立
鹿島
成田
川崎
羽田
木更津
千葉
田子の浦
横須賀
七尾
富山
金沢
伏木
小松
敦賀
四日市
名古屋空港
清水
蒲郡
御前崎
宮津
舞鶴
内浦
境
京都
姫路
水島
尼崎
津
堺
衣浦
豊橋
浜田
広島
尾道糸崎
福山
岸和田
相生
宇野
高松
東播磨
丸亀
小松島
和歌山
尾鷲
下関
防府
萩
岩国
竹原
土生
詫間
三島川之江
坂出
新居浜
田辺
下津
門司
戸畑
宇部
下松
平生
徳山
浜
今治
松山
須崎
高知
刈田
福岡
唐津
博多
伊万里
佐賀関
宇和島
津久見
大分
佐伯
三池
佐世保
長崎空港
松島
熊本
長崎
三角
八代
細島
水俣
鹿児島空港
川内
鹿児島
油津
志布志
喜入
伊丹
竹島
隠岐
佐渡
奥尻島
礼文島
利尻島
国後島
色丹島
択捉島
伊豆諸島
八丈島
小笠原諸島
大東諸島
沖縄諸島
宮古島
石垣島
西表島
与那国島
平良
石垣
沖縄支署
沖縄
那覇
久米島
尖閣諸島
先島諸島
琉球諸島
大隅諸島
種子島
屋久島
奄美諸島
徳之島
沖永良部島
硫黄島
父島
母島
小笠原群島

37.3

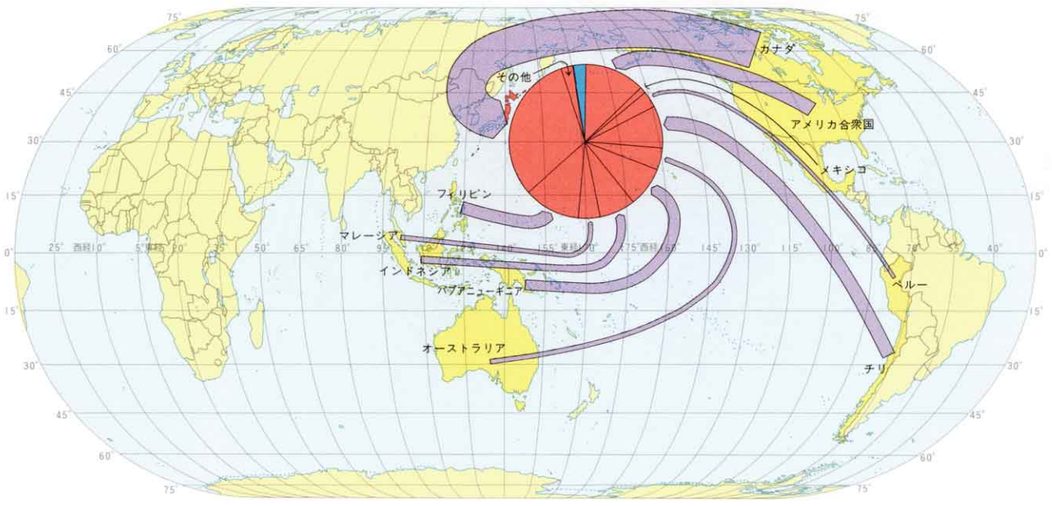
原料等の海外依存率

(1987)



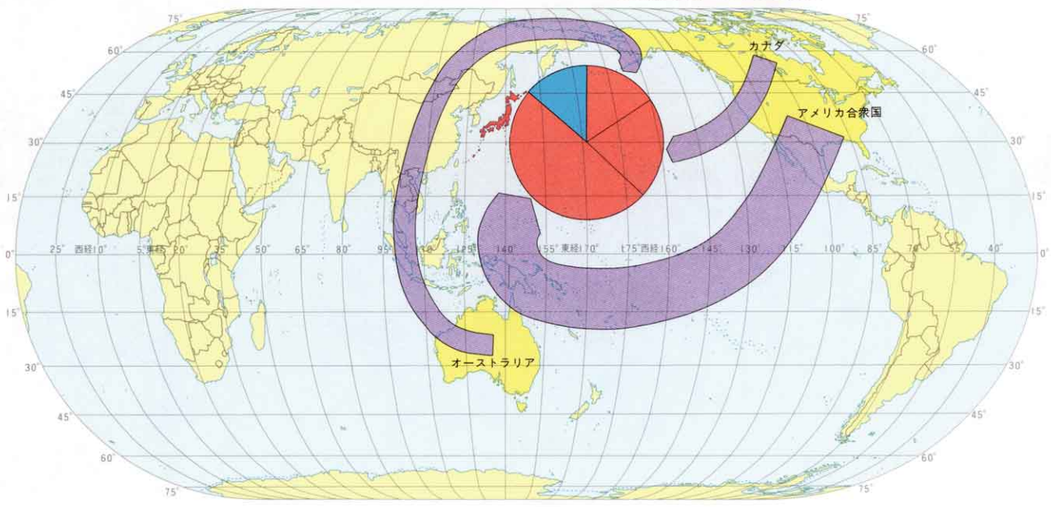
銅 鉱

総輸入量 298.1万t



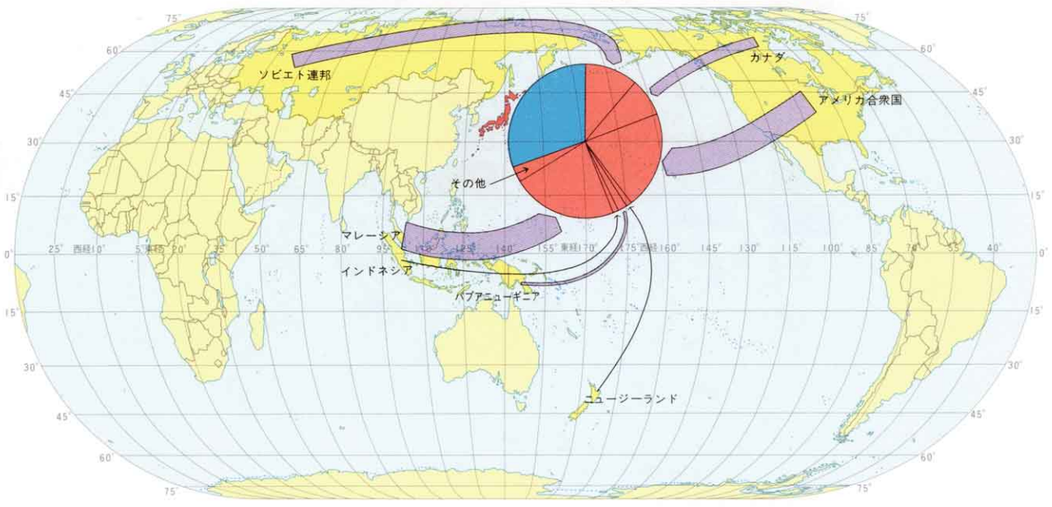
小 麦

総輸入量 547.6万t



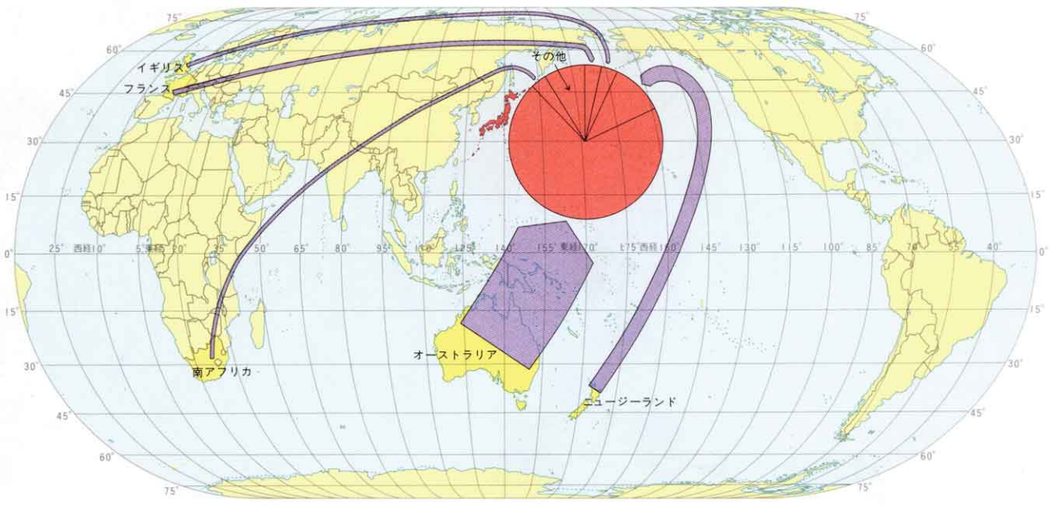
木 材

総輸入量 3,969万m³



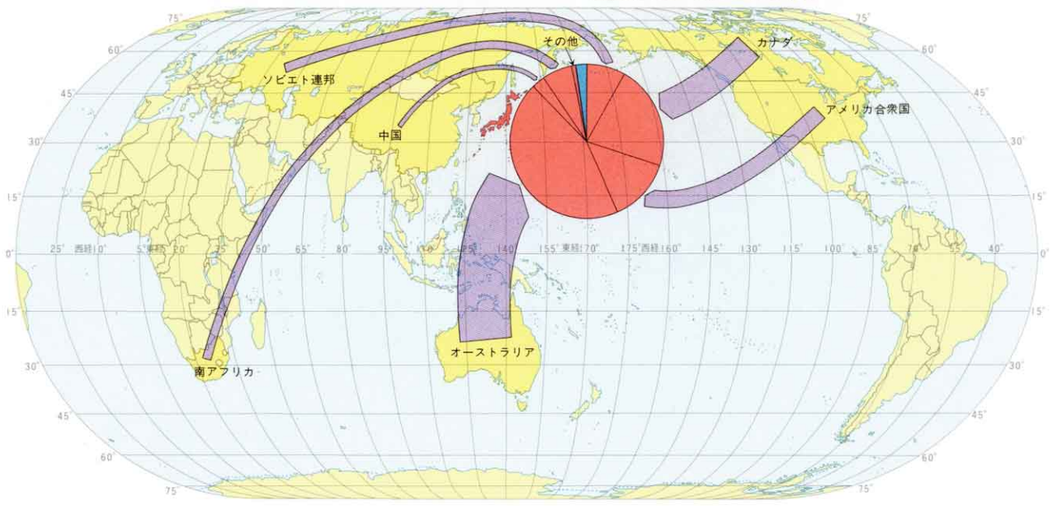
羊 毛

総輸入量 23.2万t



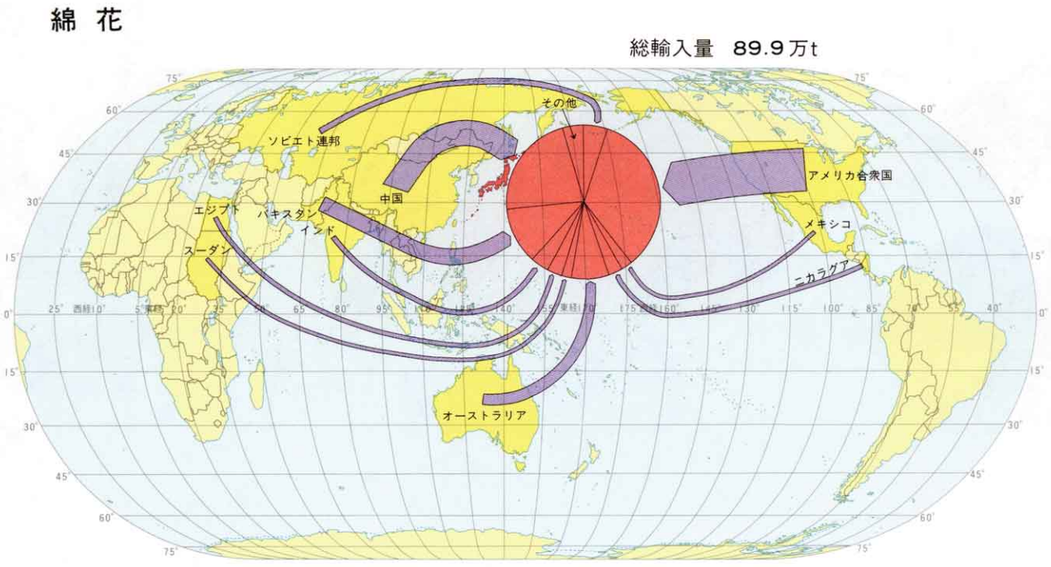
原料炭

総輸入量 6,707.5万t



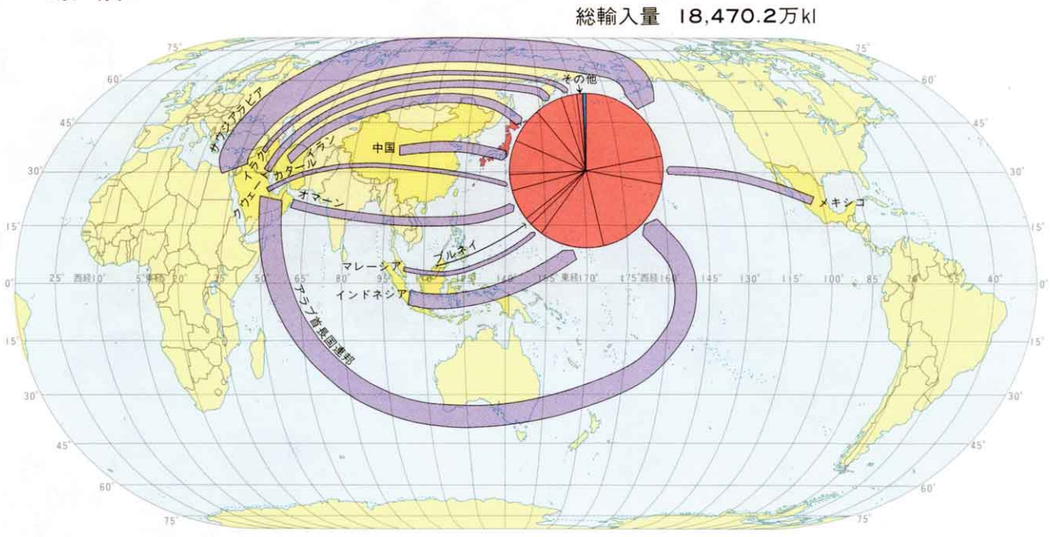
綿 花

総輸入量 89.9万t



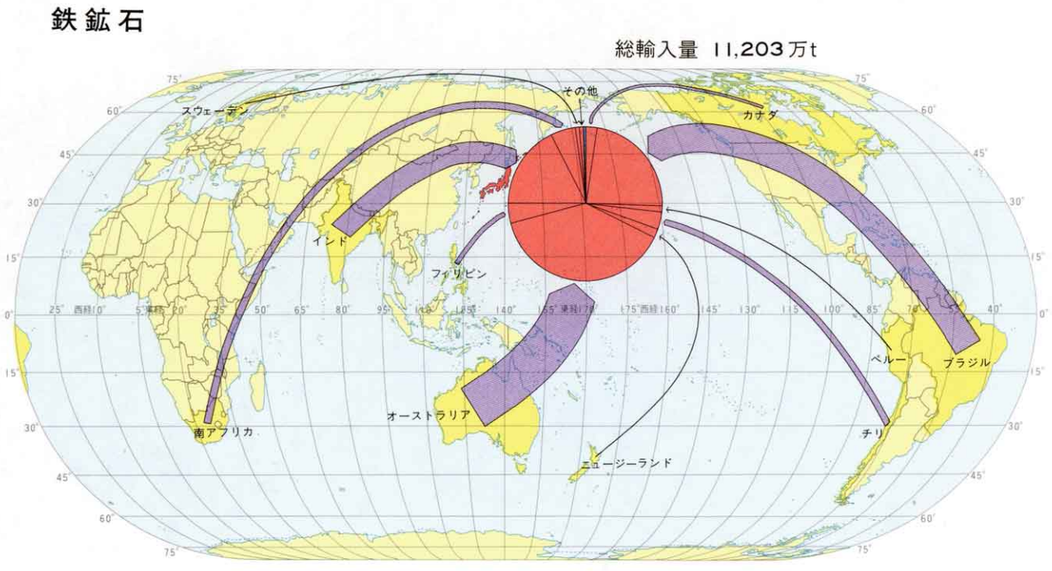
原 油

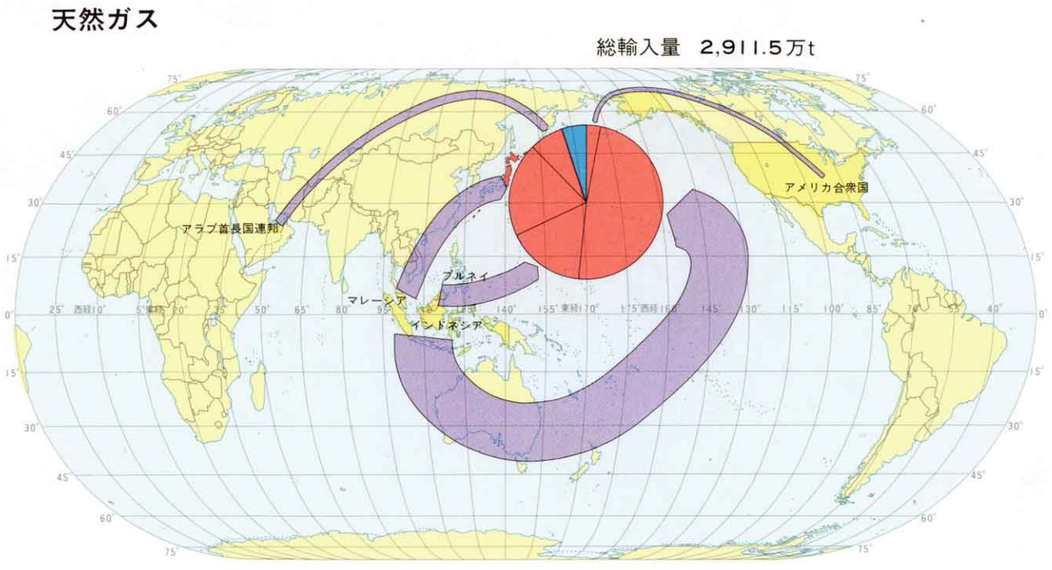
総輸入量 18,470.2万kl



鉄鉱石

総輸入量 11,203万t



天然ガス

総輸入量 2,911.5万t